



高齢者住宅経営者連絡協議会

The Council of Senior Housing Industry Executives

—海外人材部会 Report—

第27号（令和5年6月）

海外人材NEWS pick up

— 目次 —

- Page-1 委員のpickup・目次
- Page-2 interview 株式会社オクソンジャパン

Pickup

特定技能2号の対象分野の追加について

令和5年6月9日閣議決定（出入国在留管理庁HPより）

熟練した技能を要する特定技能2号については、特定技能1号の12の特定産業分野のうち、建設分野及び造船・船用工業分野の溶接区分のみが対象となっていました。ビルクリーニング、素形材・産業機械・電気電子情報関連製造業、自動車整備、航空、宿泊、農業、漁業、飲食料品製造業、外食業の9分野と、造船・船用工業分野のうち溶接区分以外の業務区分全てを新たに特定技能2号の対象とすることとしました。これにより、特定技能1号の12の特定産業分野のうち、介護分野以外の全ての特定産業分野において、特定技能2号の受入れが可能となります。

※介護分野については、現行の専門的・技術的分野の在留資格「介護」があることから、特定技能2号の対象分野とはしていません。

介護福祉士試験に合格すれば在留資格「介護」となり、長く日本で働くことができます。家族を日本に呼んで生活する事も可能になるのです。

ぜひ早い段階から計画的なバックアップをしてあげましょう！ 委員：佐藤

高齢者住宅経営者連絡協議会 The Council of Senior Housing Industry Executives（略称 高経協）

・MAIL：info@kokeikyo.com / URL：<https://kokeikyo.com/hp/>

・所在地：〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-8 RBM京橋ビル7F グッドタイムリビング株式会社内

・TEL：03-6845-8019 / FAX：03-6845-8015

※本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、会員様への情報提供のみを目的としたものであり、本資料の利用に際しては会員様御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

～Interview～



株式会社オクソンジャパン
代表 阿久津 光 氏
アムリット・ドン さん
チャウダリ・ギタ さん

～ネパールの人は永住ビザが欲しいので介護福祉士を目指す～

阿久津：15年前からネパールのカトマンズで日本語学校を経営していたが、コロナ前に日本企業から就労人材を依頼されたことをきっかけに送り出しを始めた。

三重野：介護人材は、いつくらいから育成を始めましたか？

阿久津：コロナ直前、送り出しのライセンスを取って初めて送り出したのが介護人材。一番多いのが介護と建設の人材となり、それぞれ160名くらいずつ内定している。

三重野：ネパールは小さい国、その割に多くの人材を送り出している印象。

阿久津：1社あたりの人材の依頼は2～3名と多くはなかったが、コロナの最中もオンラインで授業を続け、少しずつ少しずつ内定獲得を積み重ねた結果だと思えます。

三重野：すでに日本に行っている方もいますか？

阿久津：内定頂いたうち120名くらいはすでに日本で就労しています。長い人で今年の12月で3年を迎える介護技能実習生がいて、同じ事業所で特定技能介護にビザを変更して継続する予定となっています。

三重野：介護福祉士試験も受験されるんですか？

阿久津：もちろんです。オクソンから送り出している介護人材が目指しているのは介護福祉士合格です。ネパールの人たちは永住ビザが欲しいので、介護福祉士試験合格のため頑張っている。

三重野：ネパールの人からは、どんな国が人気があるのか？

阿久津：中東です。ドバイ、カタール、サウジアラビアが主な国。

日本はかなり少数の送り出し国となっている。 ～続きは動画にてお楽しみください♪

<インタビュー>

海外人材部会長/三重野 委員/佐藤

